

平成 27 年 12 月 17 日
大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課 保健統計室
室長 岩崎 容子
室長補佐 渡 三佳
患者統計係
(代表電話) 03 (5253) 1111 (内線 7516, 7517)
(直通電話) 03 (3595) 2958

平成 26 年(2014) 患者調査の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 推計患者数	
(1) 施設の種類・性・年齢階級別	3
(2) 傷病分類別	5
(3) 在宅医療の状況	6
(4) 入院（重症度等）の状況	7
2 受療率	
(1) 性・年齢階級別	8
(2) 傷病分類別	9
(3) 都道府県別	10
3 退院患者の平均在院日数等	
(1) 施設の種類・年齢階級別	11
(2) 傷病分類別	12
(3) 推計退院患者数の構成割合	13
4 入院前の場所・退院後の行き先	14
5 主な傷病の総患者数	15
統計表	16
受療率の算出に用いた人口	33

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その属性、入院・来院時の状況及び傷病名等の実態を明らかにし、併せて地域別患者数を推計することにより、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。

	施設数	抽 出 率	客 体 数	
			入院・外来	退 院
病 院	6,402	入院 7.6/10 , 外来 4.0/10	199.5万人	104.9万人
一般診療所	5,893	6.3/100	27.5万人	0.9万人
歯科診療所	1,278	1.9/100	2.7万人	

注：歯科診療所は、外来のみの調査である。

3 調査の期日

病院については、平成26年10月21日（火）～23日（木）の3日間のうち病院ごとに指定した1日とし、診療所については、平成26年10月21日（火）、22日（水）、24日（金）の3日間のうち診療所ごとに指定した1日とした。

また、退院患者については、平成26年9月1日～30日までの1か月間とした。

4 調査事項

性別、出生年月日、患者の住所、入院年月日（※1）、退院年月日（※2）、主傷病名、副傷病名、診療費等支払方法、病床の種別（※1）、紹介の状況（※3）、退院後の行き先（※2）等

※1 入院患者及び退院患者に対する調査事項

※3 入院患者及び外来患者に対する調査事項

※2 退院患者に対する調査事項

5 調査の方法及び系統

医療施設の管理者が記入する方式によった。

厚生労働省 —— 都道府県 —— 保健所 —— 医療施設
└—— 保健所設置市 ——┘
特 別 区

6 結果の集計

厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、医療施設に関する情報の一部は平成26年医療施設静態調査の結果を用いた。

7 用語の説明

(1) 推計患者数

調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数である。

(2) 推計退院患者数

調査対象期間中（平成26年9月1日～30日）に病院、一般診療所を退院した患者の推計数である。

(3) 退院患者の平均在院日数

調査対象期間中（平成26年9月1日～30日）に退院した患者の在院日数の平均である。

(4) 受療率

推計患者数を人口 10 万対であらわした数である。

受療率（人口 10 万対）＝推計患者数／推計人口×100,000

(5) 総患者数（傷病別推計）

調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋（再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7））

(6) 病床の種類

精神病床

精神疾患を有する者を入院させるための病床をいう。

感染症病床

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成 10 年法律第 114 号）に規定する一類感染症、二類感染症（結核を除く。）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症並びに新感染症の患者を入院させるための病床をいう。

結核病床

結核の患者を入院させるための病床をいう。

療養病床

病院の病床（精神病床、感染症病床、結核病床を除く。）又は一般診療所の病床のうち主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床をいう。

一般病床

精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいう。

8 利用上の注意

(1) 本調査における傷病は、世界保健機関（WHO）の「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」（ICD）に基づいて定められた「疾病、傷害及び死因の統計分類（ICD-10（2003 年版）準拠）」を適用して分類している。

(2) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章する事が不適当な場合	…
統計項目のありえない場合	・
推計値、比率等でまらめた結果が表章すべき最下位の桁の 1 に達しない場合	0 又は 0.0

(3) 掲載の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(4) 受療率の算出に用いた人口は、「人口推計（平成 26 年 10 月 1 日現在）」（総務省）の総人口である。（33 頁「受療率の算出に用いた人口」）

(5) 傷病分類別の数値については、主傷病（※4）について表章したものである。

※4 「主傷病」 入院患者 … 調査日現在、入院の理由となっている傷病

外来患者 … 調査日現在、主として治療又は検査をしている傷病

退院患者 … 退院時に入院の理由となっていた傷病

(6) 平成 23 年は、東日本大震災の影響により、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県は調査を実施していないため、これらの地域を除いた数値となっている。

※ 患者調査は、統計法に基づく基幹統計「患者統計」を作成するための統計調査である。

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,318.8千人、「外来」7,238.4千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,318.8千人について、施設の種類の別みると「病院」1,273.0千人、「一般診療所」45.8千人、性別にみると「男」603.8千人、「女」715.1千人、年齢階級別にみると「65歳以上」937.3千人、「75歳以上」669.4千人となっている。

「外来」7,238.4千人について、施設の種類の別みると「病院」1,641.9千人、「一般診療所」4,233.0千人、「歯科診療所」1,363.4千人、性別にみると「男」3,131.0千人、「女」4,107.3千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,510.2千人、「75歳以上」1,895.1千人となっている。（表1、統計表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人)

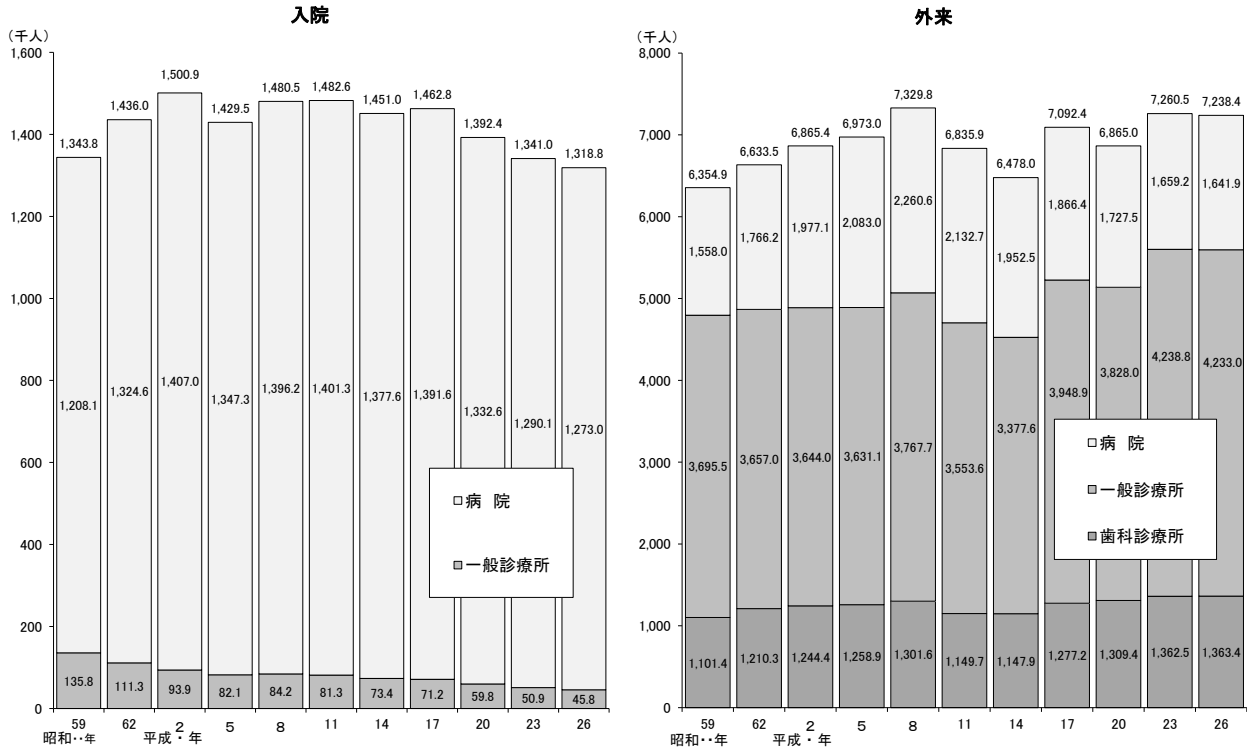
平成26年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
男	603.8	589.6	14.2	3 131.0	769.1	1 761.1	600.8
女	715.1	683.4	31.7	4 107.3	872.8	2 471.9	762.6
0 歳	10.8	10.4	0.4	68.3	12.6	55.6	0.0
1 ~ 4	7.1	7.1	0.1	284.3	34.3	232.2	17.7
5 ~ 9	4.9	4.9	0.0	234.7	25.6	157.1	52.0
10 ~ 14	5.3	5.2	0.0	151.3	20.7	99.0	31.6
15 ~ 19	7.0	6.8	0.2	116.3	19.3	72.3	24.7
20 ~ 24	10.2	9.5	0.7	138.9	23.8	81.0	34.1
25 ~ 29	16.1	14.3	1.8	181.4	34.8	105.7	40.9
30 ~ 34	22.1	20.0	2.1	230.4	46.0	128.7	55.6
35 ~ 39	26.3	24.8	1.5	284.4	58.8	156.7	68.9
40 ~ 44	32.3	31.8	0.6	331.2	72.1	180.8	78.3
45 ~ 49	36.8	36.2	0.6	329.5	74.8	173.3	81.3
50 ~ 54	46.0	45.3	0.7	363.4	84.1	191.7	87.6
55 ~ 59	59.1	58.2	1.0	410.3	100.8	213.6	96.0
60 ~ 64	95.6	94.1	1.5	585.0	146.2	306.7	132.1
65 ~ 69	123.6	121.0	2.6	760.6	190.6	409.3	160.7
70 ~ 74	144.3	141.1	3.2	854.5	213.0	485.2	156.3
75 ~ 79	165.2	160.5	4.7	777.2	197.9	463.8	115.4
80 ~ 84	188.9	181.9	7.0	613.8	158.1	381.6	74.1
85 ~ 89	170.9	162.3	8.6	348.3	86.9	225.8	35.7
90歳以上	144.4	136.1	8.4	155.8	38.7	101.8	15.3
不 詳	1.9	1.7	0.2	18.9	2.8	11.1	5.1
(再 掲)							
65歳以上	937.3	902.8	34.5	3 510.2	885.3	2 067.5	557.4
75歳以上	669.4	640.7	28.7	1 895.1	481.6	1 173.0	240.5

推計患者数の年次推移をみると、入院では平成 20 年から減少しており、外来では平成 17 年からほぼ横ばいとなっている（図 1、統計表 1）。

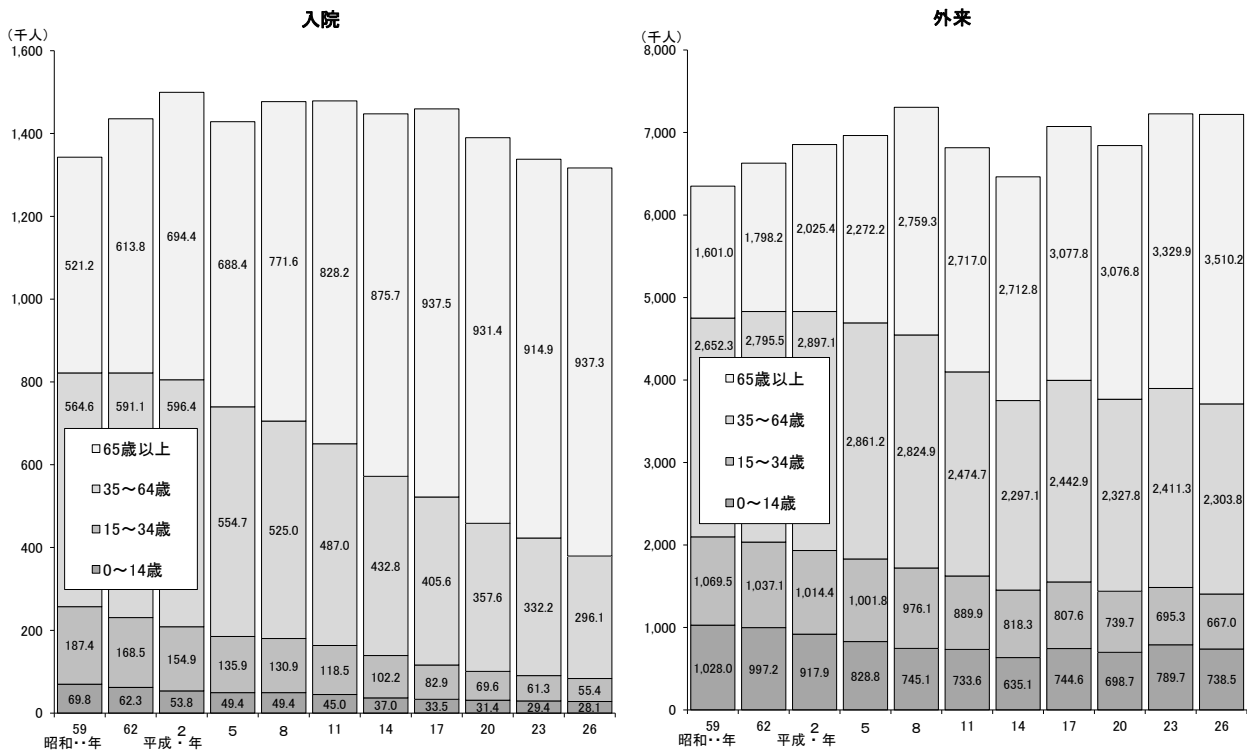
年齢階級別にみると、入院では「0～14 歳」「15～34 歳」「35～64 歳」は減少傾向、「65 歳以上」は増加傾向となっており、外来では「65 歳以上」は増加傾向となっている（図 2、統計表 1）。

図 1 施設の種類の別みた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図 2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(2) 傷病分類別

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」265.5千人、「IX 循環器系の疾患」240.1千人、「II 新生物」144.9千人となっている。

外来患者では、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,310.0千人、「IX 循環器系の疾患」933.0千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」877.8千人となっている。(表2、統計表2、3)

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数

(単位：千人)

平成26年10月

傷病分類	入院			外来			
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	1 318.8	1 273.0	45.8	7 238.4	1 641.9	4 233.0	1 363.4
I 感染症及び寄生虫症	20.7	20.3	0.4	173.3	41.7	131.6	-
結核 (再掲)	3.4	3.4	0.0	1.7	1.5	0.2	-
ウイルス肝炎 (再掲)	1.4	1.3	0.1	28.3	14.0	14.3	-
II 新生物	144.9	143.2	1.7	231.6	187.3	44.3	-
悪性新生物 (再掲)	129.4	127.9	1.5	171.4	146.5	24.8	-
胃の悪性新生物 (再掲)	13.5	13.4	0.2	19.2	14.9	4.3	-
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	18.9	18.7	0.3	28.0	22.9	5.1	-
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	6.9	6.8	0.1	5.5	4.5	1.0	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	18.8	18.7	0.1	16.1	14.3	1.8	-
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.4	5.3	0.1	24.3	21.5	2.8	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.3	6.1	0.2	21.6	10.4	11.2	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	33.0	31.6	1.3	437.0	131.9	305.1	-
糖尿病 (再掲)	20.9	20.0	1.0	222.3	77.6	144.7	-
高脂血症 (再掲)	0.3	0.2	0.1	143.7	21.7	122.1	-
V 精神及び行動の障害	265.5	264.3	1.3	257.7	110.9	146.9	-
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	29.8	29.3	0.5	11.9	3.6	8.3	-
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	165.8	165.6	0.1	69.7	44.7	25.0	-
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	28.8	28.4	0.4	83.4	27.3	56.1	-
VI 神経系の疾患	122.2	119.5	2.7	173.0	69.3	103.7	-
アルツハイマー病 (再掲)	47.0	45.8	1.2	45.1	14.1	30.9	-
VII 眼及び付属器の疾患	11.5	10.2	1.3	337.9	56.9	280.9	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.5	2.4	0.1	100.5	15.2	85.3	-
IX 循環器系の疾患	240.1	230.4	9.7	933.0	236.3	696.7	-
高血圧性疾患 (再掲)	6.4	4.8	1.6	671.4	104.6	566.8	-
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	59.9	57.4	2.5	133.9	68.2	65.7	-
脳血管疾患 (再掲)	159.4	154.9	4.6	94.0	44.7	49.2	-
X 呼吸器系の疾患	90.7	88.1	2.6	668.4	91.6	576.8	-
肺炎 (再掲)	34.6	33.3	1.3	8.2	3.9	4.3	-
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	7.9	7.6	0.4	22.0	8.8	13.3	-
喘息 (再掲)	3.8	3.6	0.2	127.6	23.7	103.9	-
XI 消化器系の疾患	65.9	63.9	2.0	1 310.0	115.9	174.4	1 019.6
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	0.0	283.6	3.4	3.3	276.8
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.2	0.2	-	444.7	9.5	7.1	428.2
肝疾患 (再掲)	8.0	7.7	0.3	32.6	12.1	20.5	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	10.9	10.5	0.4	286.9	47.7	239.3	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	69.9	64.4	5.5	877.8	180.6	697.2	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	46.9	44.0	2.9	283.1	112.6	170.5	-
慢性腎不全 (再掲)	24.1	21.7	2.4	107.3	47.2	60.1	-
XV 妊娠、分娩及び産じょく	18.4	14.2	4.3	14.5	6.7	7.8	-
XVI 周産期に発生した病態	6.7	6.4	0.3	2.9	2.4	0.5	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.7	0.0	14.3	9.0	5.3	-
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16.0	15.0	1.0	76.9	38.2	38.7	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	131.3	124.5	6.8	306.5	102.5	201.2	2.7
骨折 (再掲)	91.4	86.4	5.0	92.0	39.9	52.1	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.7	8.3	1.3	731.7	74.9	315.8	341.1

(3) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は156.4千人であり、これを施設の種別別にみると、「病院」14.4千人、「一般診療所」101.5千人、「歯科診療所」40.6千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、総数では「往診」34.0千人、「訪問診療」114.8千人、「医師・歯科医師以外の訪問」7.6千人となっている。(表3)

年次推移をみると、在宅医療を受けた推計外来患者数は平成17年までほぼ横ばいであったが、平成20年からは増加している(図3)。

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

年齢階級	推計外来患者数 総数	平成26年10月														
		(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 238.4	156.4	34.0	114.8	7.6	14.4	4.4	7.2	2.8	101.5	29.6	69.1	2.7	40.6	38.5	2.1
0～14歳	738.5	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	-
15～34	667.0	3.3	0.6	2.5	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	0.8	0.4	0.3	0.1	2.2	2.2	-
35～64	2 303.8	15.3	3.7	9.8	1.8	2.4	0.7	0.5	1.2	6.0	2.9	2.5	0.6	6.8	6.8	0.1
65歳以上 (再掲)	3 510.2	137.1	29.3	102.2	5.5	11.5	3.5	6.6	1.4	94.0	25.9	66.1	2.0	31.5	29.5	2.0
75歳以上	1 895.1	121.5	26.2	90.7	4.6	9.8	2.9	6.0	0.9	84.8	23.3	59.6	1.8	26.9	25.0	1.9

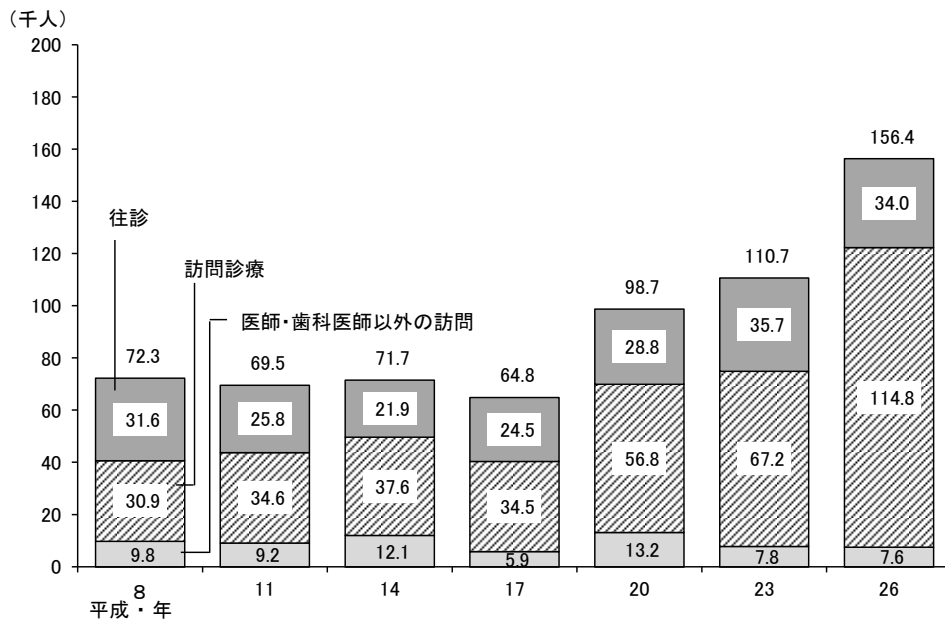
注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 「往診」とは、患者(介護老人保健施設等を含む。以下同じ。)の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。

3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。

4) 「医師・歯科医師以外の訪問」、「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

図3 在宅医療を受けた推計外来患者数の年次推移

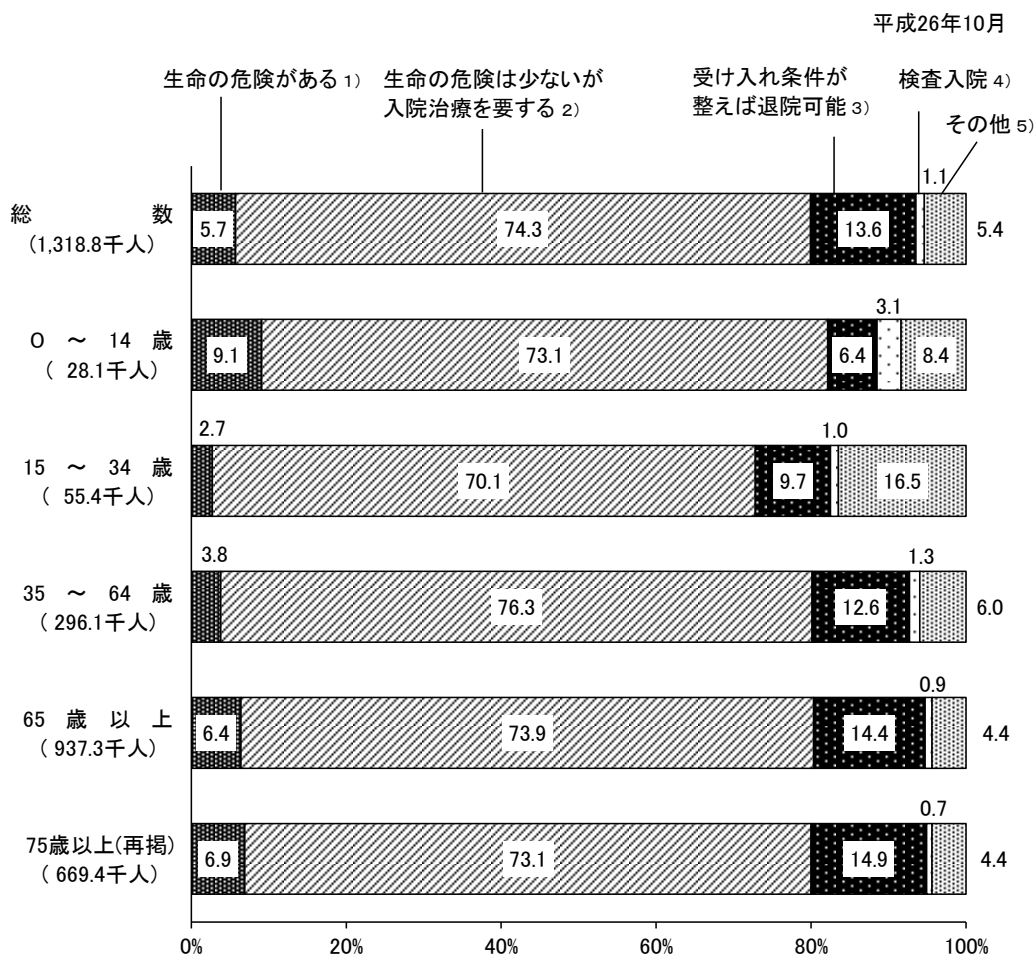


注：平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.7%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」74.3%、「受け入れ条件が整えば退院可能」13.6%、「検査入院」1.1%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い高くなっている。（図4）

図4 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) ()内は、推計入院患者数である。

2 受療率

全国の受療率（人口10万対）は、「入院」1,038、「外来」5,696である。

(1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」977、「女」1,095、外来では「男」5,066、「女」6,292となっており、年齢階級別にみると、入院では「65歳以上」2,840、「75歳以上」4,205、外来では「65歳以上」10,637、「75歳以上」11,906となっている（表4、統計表4）。

表4 性・年齢階級別に応じた受療率（人口10万対）

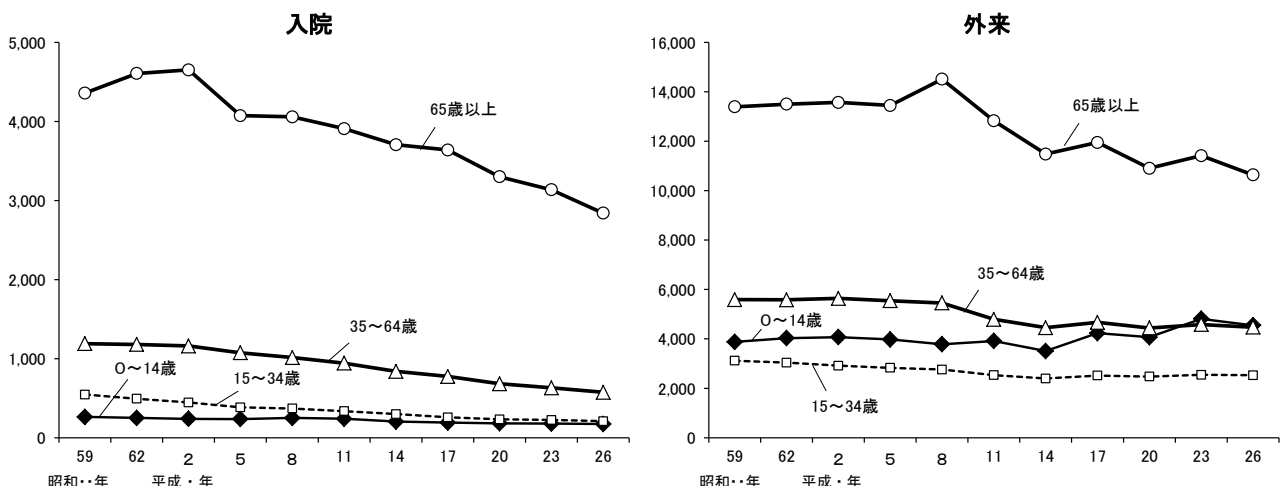
年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 038	977	1 095	5 696	5 066	6 292
0 歳	1 062	1 119	1 001	6 691	6 811	6 564
1 ~ 4	170	187	152	6 778	6 914	6 638
5 ~ 9	92	101	83	4 422	4 562	4 275
10 ~ 14	92	102	82	2 649	2 711	2 584
15 ~ 19	117	123	111	1 937	1 750	2 134
20 ~ 24	165	147	184	2 240	1 743	2 765
25 ~ 29	241	178	306	2 716	1 908	3 561
30 ~ 34	296	216	379	3 086	2 156	4 043
35 ~ 39	304	266	342	3 280	2 463	4 118
40 ~ 44	330	351	308	3 382	2 850	3 927
45 ~ 49	427	480	374	3 827	3 333	4 327
50 ~ 54	591	688	493	4 664	4 087	5 244
55 ~ 59	772	921	626	5 361	4 878	5 838
60 ~ 64	1 064	1 282	855	6 514	6 164	6 853
65 ~ 69	1 350	1 618	1 102	8 309	7 821	8 761
70 ~ 74	1 820	2 110	1 568	10 778	10 266	11 224
75 ~ 79	2 635	2 913	2 416	12 397	12 110	12 624
80 ~ 84	3 879	4 063	3 757	12 606	12 857	12 439
85 ~ 89	5 578	5 603	5 569	11 373	11 871	11 126
90歳以上	8 412	7 803	8 587	9 074	9 911	8 834
(再 掲)						
65歳以上	2 840	2 786	2 881	10 637	10 327	10 872
75歳以上	4 205	4 036	4 311	11 906	12 169	11 741

平成26年10月

注：総数には、年齢不詳を含む。

年齢階級別にみると、入院、外来ともに「65歳以上」が最も高くなっているが、年次推移では低下傾向となっている（図5、統計表4）。

図5 年齢階級別に応じた受療率（人口10万対）の年次推移



注：1）平成23年は、宮城県石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。
2）数値は、統計表4参照。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」209、「IX 循環器系の疾患」189、「II 新生物」114となっている。外来では、「XI 消化器系の疾患」1,031、「IX 循環器系の疾患」734、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」691となっている。(表5、統計表5)

表5 傷病分類別にみた受療率(人口10万対)

平成26年10月

傷病分類	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 038	977	1 095	5 696	5 066	6 292
I 感染症及び寄生虫症	16	17	16	136	127	146
結核 (再掲)	3	3	2	1	1	1
ウイルス肝炎 (再掲)	1	1	1	22	22	22
II 新生物	114	132	97	182	172	192
悪性新生物 (再掲)	102	122	83	135	147	124
胃の悪性新生物 (再掲)	11	15	7	15	20	10
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	15	17	13	22	26	19
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	5	7	4	4	6	3
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	15	20	9	13	16	9
乳房の悪性新生物 (再掲)	4	0	8	19	0	37
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	4	6	17	9	25
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	26	23	29	344	300	385
糖尿病 (再掲)	16	15	18	175	198	153
高脂血症 (再掲)	0	0	0	113	69	155
V 精神及び行動の障害	209	210	208	203	195	211
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	23	18	29	9	6	13
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	130	135	126	55	60	50
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	23	16	29	66	56	74
VI 神経系の疾患	96	81	110	136	114	157
アルツハイマー病 (再掲)	37	24	49	35	19	51
VII 眼及び付属器の疾患	9	8	10	266	207	322
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	2	79	72	86
IX 循環器系の疾患	189	174	203	734	676	789
高血圧性疾患 (再掲)	5	3	7	528	455	597
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	47	44	50	105	116	95
脳血管疾患 (再掲)	125	114	136	74	77	71
X 呼吸器系の疾患	71	79	64	526	506	545
肺炎 (再掲)	27	29	26	6	6	7
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	6	8	4	17	24	11
喘息 (再掲)	3	3	3	100	94	106
XI 消化器系の疾患	52	56	48	1 031	934	1 123
う蝕 (再掲)	0	0	0	223	205	240
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0	0	0	350	302	395
肝疾患 (再掲)	6	7	6	26	28	24
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	9	8	9	226	208	243
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	55	40	69	691	533	840
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	37	37	37	223	217	228
慢性腎不全 (再掲)	19	21	17	84	112	58
XV 妊娠、分娩及び産じょく	15	・	28	11	・	22
XVI 周産期に発生した病態	5	6	5	2	2	2
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	4	11	11	12
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13	10	15	61	51	70
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	103	80	125	241	249	234
骨折 (再掲)	72	42	100	72	62	82
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	4	11	576	485	662

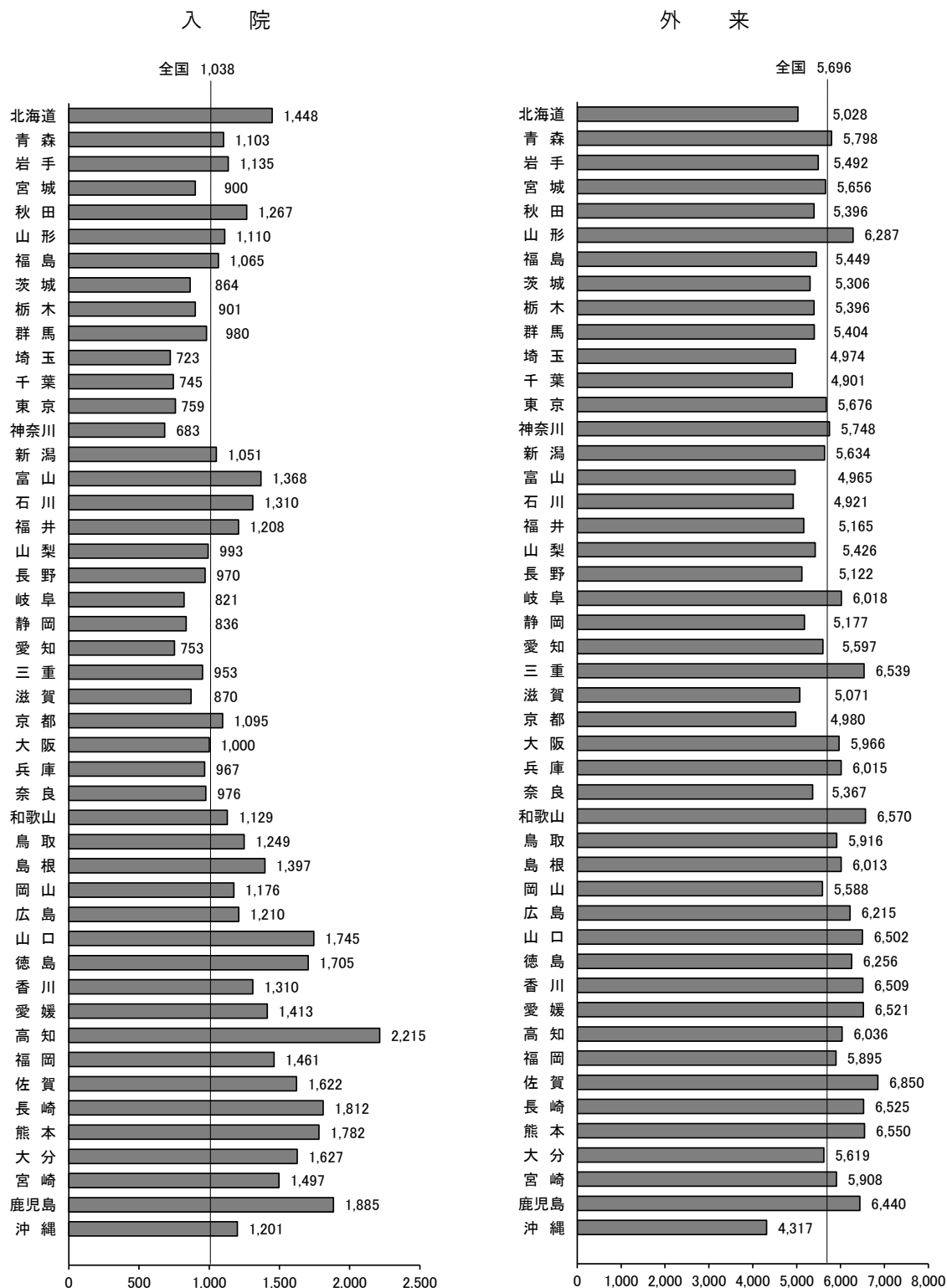
(3) 都道府県別

都道府県(患者住所地)別にみると、入院では、「高知」が2,215と最も高く、次いで「鹿児島」1,885、「長崎」1,812となっている。また、「神奈川」が683と最も低く、次いで「埼玉」723、「千葉」745となっている。

外来では、「佐賀」が6,850と最も高く、次いで「和歌山」6,570、「熊本」6,550となっている。また、「沖縄」が4,317と最も低く、次いで「千葉」4,901、「石川」4,921となっている。(図6)

図6 都道府県(患者住所地)別にみた受療率(人口10万対)

平成26年10月



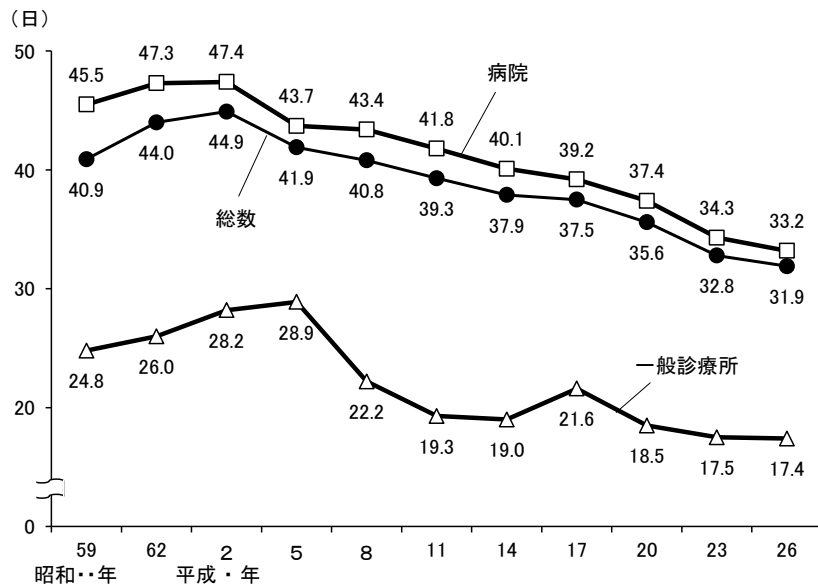
3 退院患者の平均在院日数等

(1) 施設の種類の年齢階級別

平成26年9月中の全国の退院患者について、在院日数の平均である平均在院日数を施設の種別にみると、「病院」33.2日、「一般診療所」17.4日となっており、病院、診療所ともに短くなる傾向となっている（図7、統計表6）。

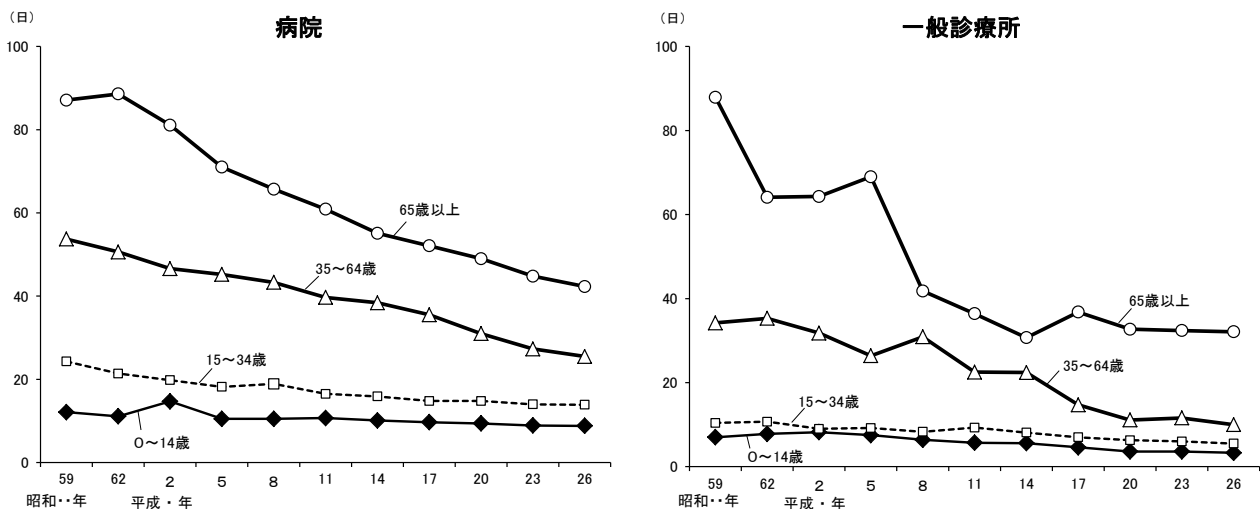
年齢階級別にみると、年齢階級が上がるに従い退院患者の平均在院日数は長くなっている（図8、統計表6）。

図7 施設の種別に応じた退院患者の平均在院日数の年次推移



注：1）各年9月1日～30日に退院した者を対象とした。
2）平成23年は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図8 年齢階級別にみた退院患者の平均在院日数の年次推移



注：1）各年9月1日～30日に退院した者を対象とした。
2）平成23年は、宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。
3）数値は、統計表6参照。

(2) 傷病分類別

退院患者の平均在院日数を傷病分類別にみると、長い順に「V 精神及び行動の障害」291.9日、「VI 神経系の疾患」82.2日、「IX 循環器系の疾患」43.3日となっている（表6、統計表7）。

表6 傷病分類別にみた年齢階級別退院患者の平均在院日数

(単位：日) 平成26年9月

傷病分類	総数	0～14歳	15～34歳	35～64歳	65歳以上	75歳以上 (再掲)
総数	31.9	8.4	12.0	24.4	41.7	47.6
I 感染症及び寄生虫症	20.9	4.6	7.1	18.3	31.5	37.1
結核 (再掲)	58.7	32.8	40.7	65.2	58.4	58.6
ウイルス肝炎 (再掲)	16.3	5.1	12.5	12.5	21.4	38.2
II 新生物	18.7	19.8	14.0	14.0	21.1	25.3
悪性新生物 (再掲)	19.9	32.1	18.6	15.4	21.7	26.1
胃の悪性新生物 (再掲)	19.3	5.5	12.1	13.9	21.0	25.7
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	18.0	8.0	10.8	13.5	20.0	24.5
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	18.8	47.8	12.1	15.8	19.3	21.6
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.9	10.1	9.8	16.7	22.3	26.9
乳房の悪性新生物 (再掲)	12.5	-	6.8	8.9	15.9	19.8
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21.8	10.4	10.7	19.8	26.0	27.3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	28.5	5.4	12.4	19.0	36.3	43.1
糖尿病 (再掲)	35.5	13.0	14.1	20.0	47.4	65.2
高脂血症 (再掲)	29.4	1.0	4.5	7.4	62.3	83.8
V 精神及び行動の障害	291.9	36.2	60.1	204.4	523.0	473.0
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	376.5	-	231.0	267.5	380.7	383.1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	546.1	91.4	93.3	334.1	1 295.8	1 470.9
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	113.4	41.1	45.7	93.7	157.0	161.3
VI 神経系の疾患	82.2	15.7	44.7	51.8	113.2	134.9
アルツハイマー病 (再掲)	266.3	-	-	217.8	267.4	257.6
VII 眼及び付属器の疾患	4.1	3.8	6.6	4.6	3.9	4.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	7.8	4.6	6.8	8.3	8.1	8.1
IX 循環器系の疾患	43.3	18.2	13.6	21.4	50.6	62.7
高血圧性疾患 (再掲)	60.5	8.9	11.0	13.8	68.4	83.3
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	20.3	30.5	10.2	9.0	23.7	30.5
脳血管疾患 (再掲)	89.5	20.7	44.6	46.9	100.7	116.0
X 呼吸器系の疾患	27.3	5.3	10.4	15.2	39.0	41.7
肺炎 (再掲)	29.7	6.1	9.2	16.2	36.0	38.4
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	68.1	9.9	9.4	25.1	72.4	80.4
喘息 (再掲)	10.8	4.9	5.9	8.4	29.0	35.1
XI 消化器系の疾患	13.0	5.6	7.5	9.7	16.0	19.3
う蝕 (再掲)	1.6	0.4	1.1	2.4	4.5	5.2
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	2.1	0.4	1.8	3.3	3.3	3.5
肝疾患 (再掲)	25.8	9.3	10.7	17.1	33.2	40.7
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	22.7	5.9	9.7	16.2	29.6	32.8
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	31.1	11.1	13.7	20.9	38.1	45.2
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	23.6	9.4	5.9	12.4	32.4	37.8
慢性腎不全 (再掲)	62.9	46.8	15.9	35.0	72.0	88.1
XV 妊娠、分娩及び産じょく	7.9	5.0	7.4	9.3	-	-
XVI 周産期に発生した病態	10.9	10.9	44.9	29.0	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	15.5	14.0	15.8	17.6	29.2	43.5
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23.7	3.6	7.7	11.4	33.0	37.2
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	31.7	5.1	13.7	20.5	42.8	47.7
骨折 (再掲)	37.9	5.3	14.4	21.9	47.7	51.9
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.9	5.3	5.4	5.6	20.5	24.4

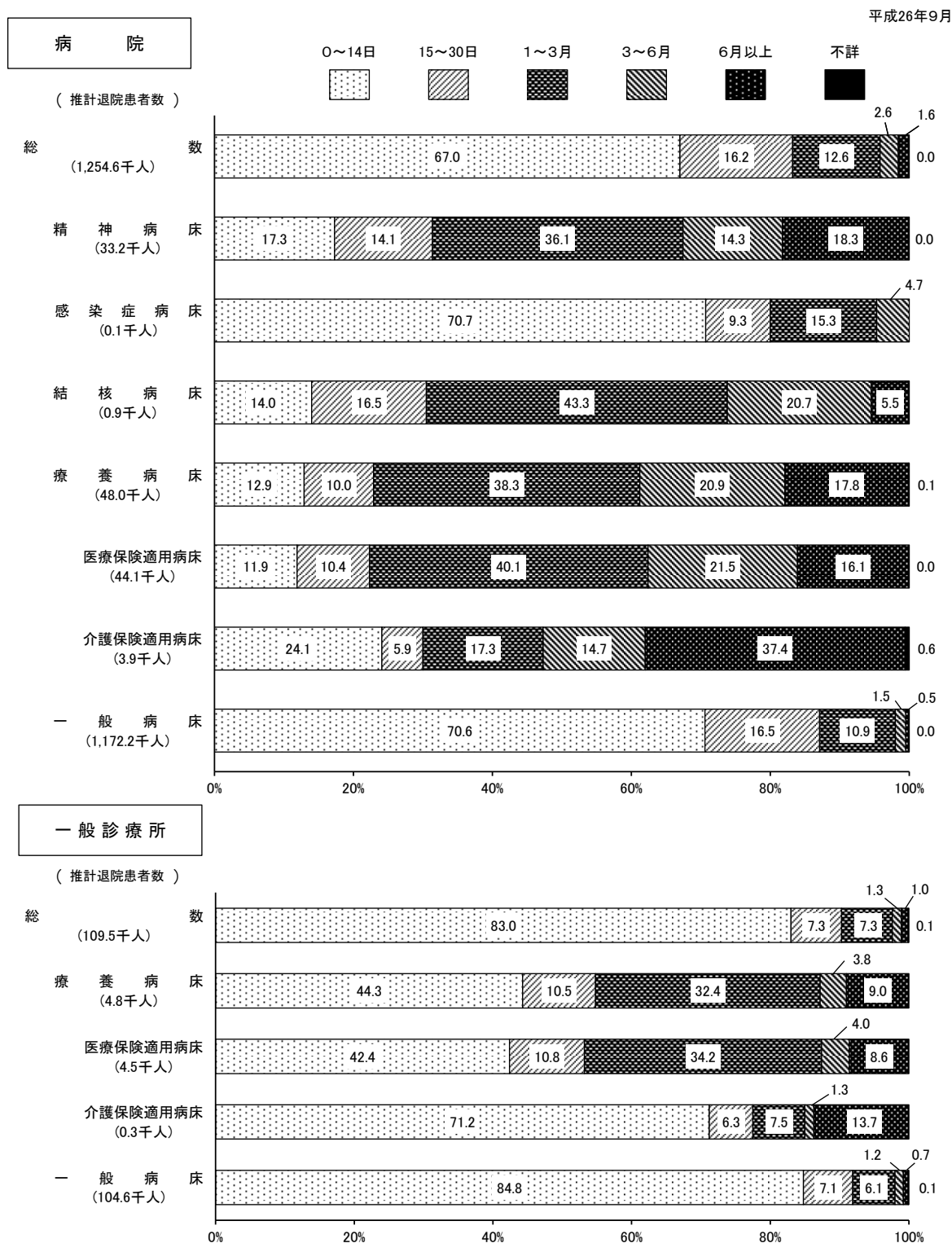
注：1) 平成26年9月1日～30日に退院した者を対象とした。

2) 総数には、年齢不詳を含む。

(3) 推計退院患者数の構成割合

退院患者の在院期間別に推計退院患者数の構成割合をみると、病院は「0～14日」が67.0%、「15～30日」16.2%、一般診療所は「0～14日」が83.0%、「15～30日」及び「1～3月」が7.3%となっている（図9）。

図9 病床の種類別にみた在院期間別の推計退院患者数の構成割合



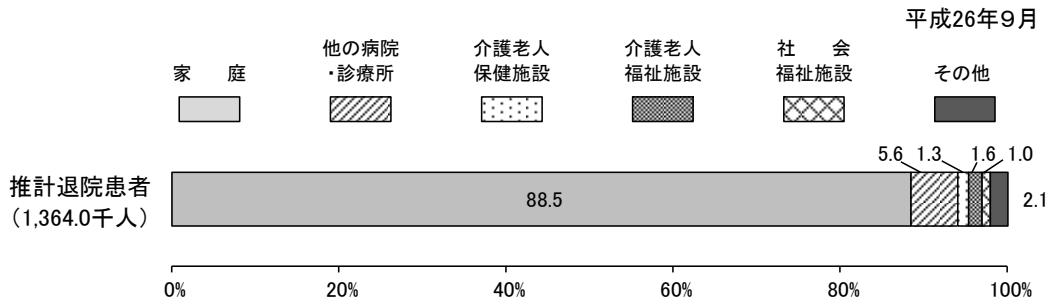
注：1）平成26年9月1日～30日に退院した者を対象とした。
2）病床の種類は退院時のものである。

4 入院前の場所・退院後の行き先

入院前の場所についてみると、推計退院患者 1,364.0 千人のうち「家庭」が 88.5%となっている（図 10、統計表 8）。

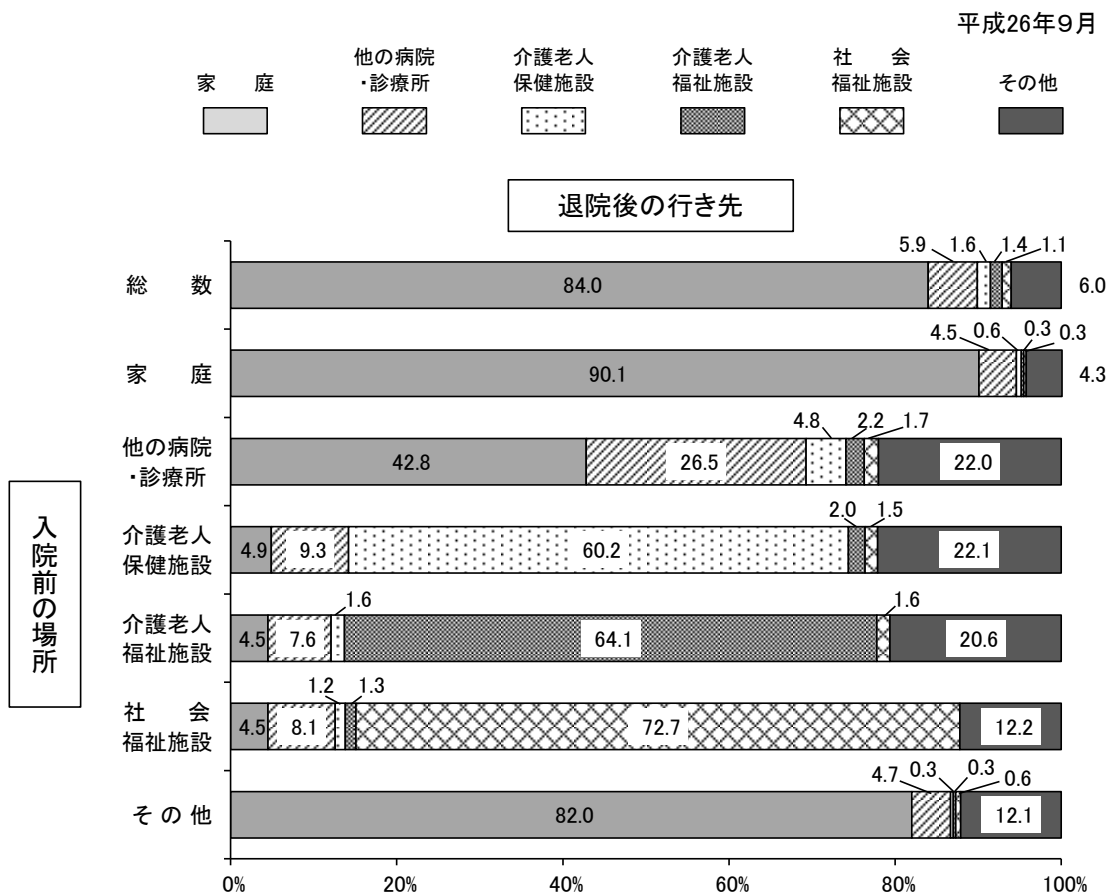
また、退院後の行き先についてみると、「家庭」が 84.0%となっている（図 11、統計表 8）。

図 10 入院前の場所別の推計退院患者数の構成割合



- 注：1) 平成 26 年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象とした。
 2) 「家庭」には、病院・一般診療所への通院、在宅医療も含む。
 3) 入院前の場所における「その他」とは、入院前の場所が特定できない者で、当該医療機関内で出生した新生児・不明等も含む。

図 11 入院前の場所・退院後の行き先別にみた推計退院患者数の構成割合



- 注：1) 平成 26 年 9 月 1 日～30 日に退院した者を対象とした。
 2) 「家庭」には、病院・一般診療所への通院、在宅医療も含む。
 3) 入院前の場所における「その他」とは、入院前の場所が特定できない者で、当該医療機関内で出生した新生児・不明等も含む。
 4) 退院後の行き先における「その他」とは、退院後の行き先が特定できない者で、死亡・不明等も含む。

5 主な傷病の総患者数

主な傷病についての全国の総患者数は、「悪性新生物」1,626千人、「心疾患（高血圧性のものを除く）」1,729千人、「脳血管疾患」1,179千人となっている（表7、統計表9）。

表7 主な傷病の総患者数

(単位：千人) 平成26年10月

主な傷病	総数	男	女
結核	20	11	10
ウイルス肝炎	184	92	92
悪性新生物	1 626	876	750
胃の悪性新生物	185	124	62
結腸及び直腸の悪性新生物	261	150	111
肝及び肝内胆管の悪性新生物	47	30	16
気管、気管支及び肺の悪性新生物	146	90	57
乳房の悪性新生物	208	1	206
糖尿病	3 166	1 768	1 401
高脂血症	2 062	596	1 465
血管性及び詳細不明の認知症	144	40	103
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	773	361	414
気分[感情]障害（躁うつ病を含む）	1 116	418	700
アルツハイマー病	534	142	392
高血圧性疾患	10 108	4 450	5 676
心疾患（高血圧性のものを除く）	1 729	947	786
脳血管疾患	1 179	592	587
慢性閉塞性肺疾患	261	183	79
喘息	1 177	515	662
う蝕	1 846	786	1 059
歯肉炎及び歯周疾患	3 315	1 373	1 942
肝疾患	251	132	119
慢性腎不全	296	185	110
骨折	580	226	354

注：総患者数は、表章単位ごとの平均診療間隔を用いて算出するため、男と女の合計が総数に合わない場合がある。

※ 総患者数（傷病別推計）とは

総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

$$\text{総患者数} = \text{入院患者数} + \text{初診外来患者数} + (\text{再来外来患者数} \times \text{平均診療間隔} \times \text{調整係数}(6/7))$$

